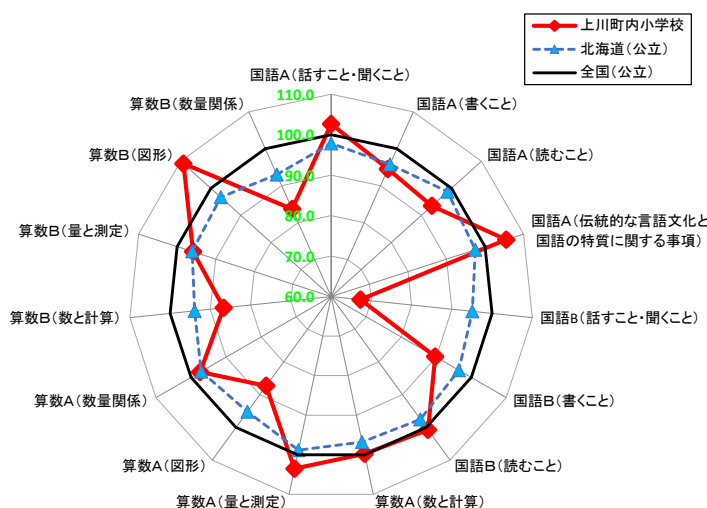


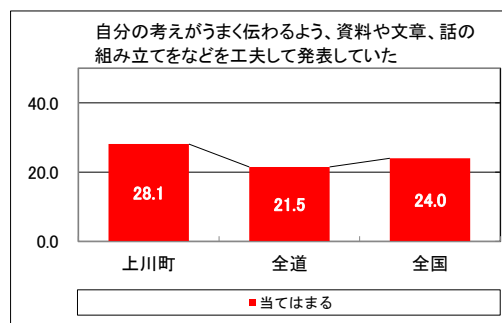
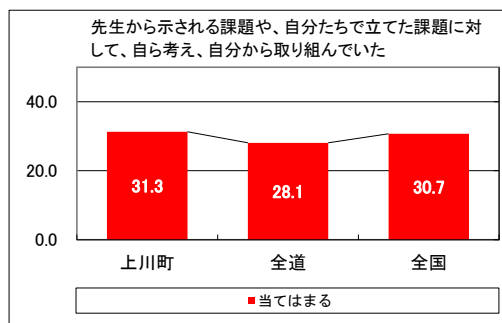
■上川町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1、児童数:32名)

【教科全体の状況】

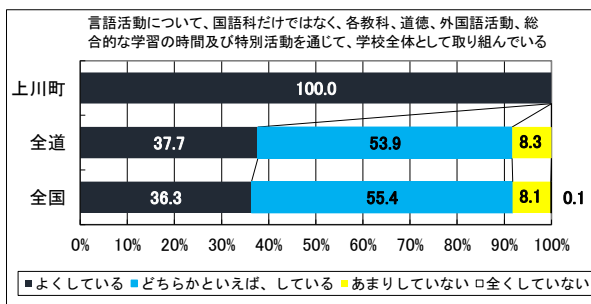
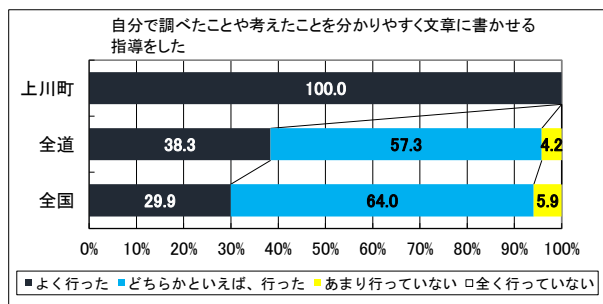
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none">○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「読むこと」で、全国を上回っている。○ 算数Aでは、「量と測定」、Bでは、「図形」で、全国を上回っている。	<ul style="list-style-type: none">○ 課題に対して、児童自ら考え、取り組むなど、主体的に学習に取り組む態度を育成したことにより、国語では、3つの領域等で、算数では、2つの領域で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none">○ 「先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。○ 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	<ul style="list-style-type: none">○ 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表させるなど、言語活動の充実を図ったことにより、国語Aの「話すこと・聞くこと」及びBの「読むこと」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none">○ 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をよくした。○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体としてよく取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none">○ 調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせたり、伝えたりする指導を行うなど、言語活動を通して児童の思考力・判断力・表現力等をはぐくんだことにより、国語Bの「読むこと」、算数Bの「図形」で全国を上回ったと考えられる。

【上川町の学力向上策】

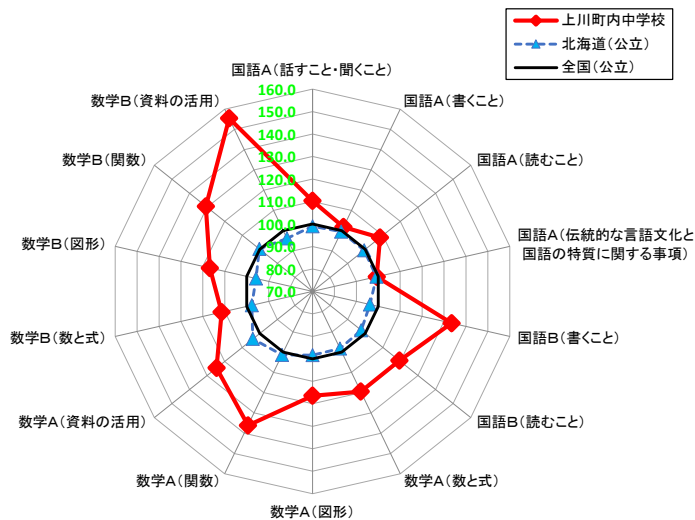
- ◎ 全国学力・学習状況調査結果等の分析及び実態把握を踏まえた学力向上策の促進
- ◎ 習熟度別指導やチーム・ティーチングなどによる個に応じたきめ細かな指導の充実及び支援員の活用
- ◎ 長期休業を活用した補充的な学習サポート「上川ジャンプアップひろば」の継続的な実施と改善

■上川町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:27名)

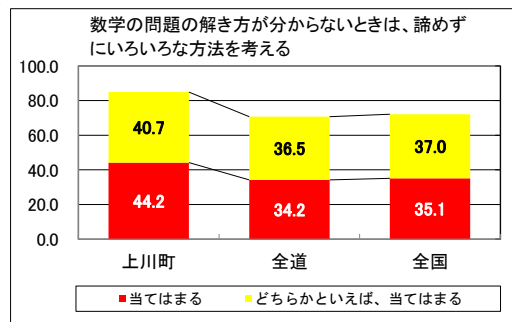
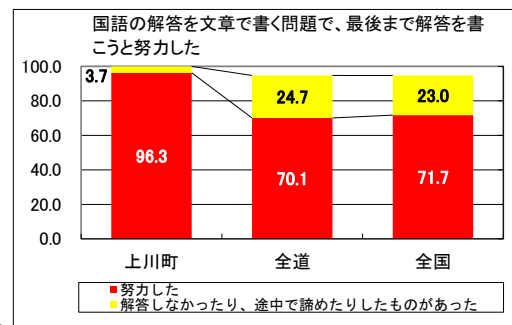
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

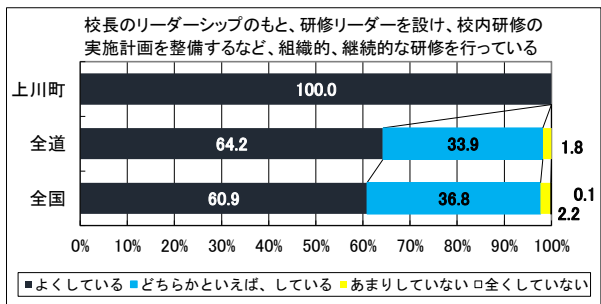
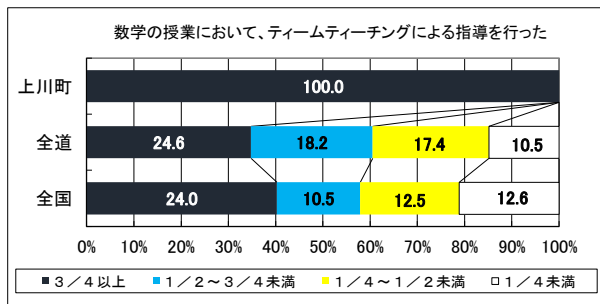
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」、Bでは、すべての領域で、全国を上回っている。 数学A・Bでは、すべての領域で、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジテストを活用し、間違えた問題の学び直しを確実に行ったことにより、国語及び数学の問題について、最後まで解答を書こうと努力したり、諦めずにいろいろな方法を考えたりする姿勢が身に付いたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 「国語の解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力した」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 「数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学の授業において、習熟度別指導やチーム・ティーチングなどによる個に応じた指導を丁寧に行ったことで、数学A・Bにおいて、すべての領域で全国を上回るなど、学習内容の定着を図ることができたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 数学の授業において、チーム・ティーチングによる指導をよく行った。 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 組織的、継続的な校内研修を行ったことで、課題に基づいた授業改善の視点の明確化や教員の指導力向上につながり、国語では、13領域等で、数学では、すべての領域で全国を上回ったと考えられる。

【上川町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査結果等の分析及び実態把握を踏まえた学力向上策の促進
- ◎ 習熟度別指導やチーム・ティーチングなどによる個に応じたきめ細かな指導の充実及び支援員の活用
- ◎ 長期休業・放課後等を活用した補足的な学習サポート「上川町地域未来塾」の実施